

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

9月 7日

第1聖日

3368号

「パウロたちの祈り」  
(IIテサロニク連続講演第21回)

### 聖言

そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を慕うあらゆる願いと信仰との働きとを全うしてくださいますように。  
テサロニケⅡ 1 : 1 1

礼拝の恵み⑬ 第一章  
第六部 礼拝のための力  
礼拝のための力は神の第三位、聖霊である。  
第二節 聖霊のみわざ  
(七) 礼拝との関係  
各々の信者がそれゆえに、自分のがわのなにか悪い行動によって聖霊を悲しませないように注意しなければならぬ。でないで、その礼拝は妨げられる。そうするためには、その罪をすぐに告白して除去すること。こうして霊の交わりは復活する。各集会も御霊を消さないように注意すること。①聖霊が各自に与えた賜物をしてなそうとする伝道を拒否したり侮蔑したりすることによって②聖霊の導きに従がわぬことによって③その生活も信条も健全であることと分かつている信者が主イエスを記念することを願って主の聖餐にあずかろうとするのを、拒むことによって④罪をさばかずそのままにしておくことによって⑤分派や党派心が育つのをそのままにしておくことによって「盗みをしている者は、もう盗んではいけません。かえって、困っている人に施しをするため、自分の手を持って正しい仕事をし、ほねおって働きなさい。悪いことばを、いっさい口に出してはいけません。ただ、必要な時、人の徳を養うのに役立つ言葉を話し、聞く人に恵みをあたえなさい。神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは贖いの人たために、聖霊によって証印を押されているのです。」(エペソ四ノ二八〜三〇)。(テサロニケⅠ五ノ一九〜二一、コリントⅠ五ノ一〜八、三ノ一〜五、一四ノ四〇) 聖霊の賜物に對して我らは神を賛美するとよい。(「礼拝」APギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話 : F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年八月三一日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「パウロたちの誇り」(テサロニケ連続講演第二〇回)

「それゆえ私たちは、神の諸教会の間で、あなたがたがすべての迫害と患難とに耐えながらその従順と信仰とを保っていることを、誇りとしています。」(テサロニケローノ四)

テサロニケの集会は混乱していた。私たちの教会のようであった。高齢化、少子化、若い人は離れ、高齢者はホームに行く。いざというときは教会は何の力はない。おまけに、再臨は近づいたから働いても意味がない。今のうちに飲んで、食べて、楽しまなければならぬと、はてなと思うような考えの人々も出て来た。普通だったら再臨の前に目を覚まして、主イエス様をお迎えするように整えられなければならないと思うのですが、そうでなく、今の世が終わるのだから、新しい世は意味がないと考える人が起こるのです。しかし、そうでなく、新しい世は今の世の延長線上にあるのです。先日も盲導犬がお尻をナイフで刺されたのですが、叫び声をあげなかったということです。それは飼い主を守る為に耐えていたのです。犬でもそうであるならば、私たちクリスチャンはそれ以上に耐えなければ神様に笑われぬ。なぜ、信仰していると人々から迫害を受けるのか。7月に永遠の賛美チームと駅前ドラクトを配布した時、四、五名の警察官がきて職務質問をされました。今まで六六年の路傍伝道に見られなかった異常なことです。暗い時代になってきました。それだけではありません。肉体の衰え。家族の病気。何故、信仰しているのに次から次へと災いが降りかかるのか。信仰していない人のほうが幸せでないか。信仰しても報われぬ。献金、義援金、奉仕と犠牲を強いられる。法事ということ。で久しぶりで家族が集まるのに、礼拝で欠席するなら、クリス

チャンは先祖を粗末にすると非難される。外から内からの戦いは絶えません。しかし、忍耐をします。いつも喜び、絶えず祈り、すべてに感謝するのです。イエス様の御再臨のとき報われるのです。

二〇一四年九月三日午後七時 祈祷会 山本牧師

「捕囚と荒廢の預言」(エゼキエル連講二〇回)

「わたしは、虚しい幻を見、まやかしの占いをしてる預言者どもに手を下す。彼らはわたしの民の交わりに加えられず、イスラエルの家の籍にも入れられない。イスラエルの地にはいることができない。このとき、あなたがたは、わたしが神、主であることを知ろう。」(エゼキエル一三ノ九)

一、偽りの平安で問題の上塗りをする預言者への告発一〜一

六

二、まやかしの占いをしてる偽女預言者への告発一七〜二

三

前章の預言はエルサレムの住民の間にあった誤った期待を正すものであったが、この章の預言はエルサレムの偽預言者に対するものである。「イスラエルの預言者ども」(二)とは。エレミヤやエゼキエルのように主が遣わされたのではないのに「心のままに預言」し、「自分の靈に従おう」(三)偽預言者のこと。

彼らは幻を見たと言ひ。まやかしの占いをし、「主の御告げ」と言つて預言していた(八)。彼らはお金のために、人々の望むことを語る預言者であった。主は彼らのことを「廢墟にいる狐」

(四)。狐は日本でも悪賢い動物と言われる。荒廢した時代に人々の不どう園を荒らす動物として嫌われる。パレスチナでもどう安に付け込み、主の名を使って商売をする彼らは、食べ物

めて廃墟を這い回る狐そっくりであった。彼らが預言者として致命的な点は、主が遣わしていないこと。そのような預言者に主は激しく語られる。「わたしは、虚しい幻を見、まやかしの占いをしている預言者どもに手を下す。彼らはわたしの民の交わりに加えられず、イスラエルの家の籍にも入れられない。イスラエルの地にはいることができない。」(九) ここでは偽預言者に重の宣告がなされている。交わり、籍、地に入れない。三重の恵みから除外される。(エゼキエル書鷹取裕成著)

### ゴスペルコンサート

一〇月二三日(月)祝日 昼一時

一、司会 山本 稔牧師

二、賛美 和歌山福音教会 村林かなえ牧師

三、信仰の体験 尾瀬姉

四、話し 岡山聖成キリスト教会牧師 足達 和章師

### 集会行進案内

食事 午後四時〜午後五時

行進 午後五時〜午後六時前

行進コース 教会↓長田神社↓長田商店街↓高速長田駅前

外の司会 山本牧師

外の証し 西田潔嗣牧師

一〇月二三日(月)祝日 夕六時

一、司会 足達 和章牧師

二、賛美 和歌山福音教会 村林かなえ牧師

三、信仰の体験 庄司姉

四、話し イエス・キリスト聖成伝道教会牧師 山本 稔師

### ヨベルリバイバル伝道予算

講師費・・・七五、〇〇〇円

宣伝費・・・六五、〇〇〇円

準備、接待費・二〇、〇〇〇円

合計・・・一六〇、〇〇〇円

乞う祈禱と協力。牧師・役員一同

### 九月行事計画追加

九月二五日(月) 教団牧師会 午前一〇時